

項目	観点	教科書名						
1 学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について	身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現するために、どのように配慮されているか。	どきどきわくわくあたらしいせいかつ あしたへジャンプ新しい生活下(2・東書)	たのしいせいかつ上たのしいせいかつ下はっけん(4・大日本)	みんなとまなぶ小学校せいかつ上みんなと学ぶしようがっこうせいかつ下(11・学図)	せいかつ上みんなとなかよしせいかつ下なかよしひろがれ[17・教出]	せいかつ上まいにちあたらしいせいかつ上そよかぜ(26・信教)	せいかつ上まいにちあたらしいせいかつ下だいすきみつけた(38・光村)	わくわくせいかつ上いきいきせいかつ下(61・啓林館)
2 内容の程度及び取り扱いについて	主体的・対話的で深い学びの表現のために、どのように配慮されているか。	・単元導入は見開きのダイナミックな写真や絵で構成し、児童の興味・関心を引き出し、児童の主体的な活動が始まるような工夫がみられる。 ・「学びをふかめる」というコーナーで深い学びが実現されている児童の姿を示したり、学びのプロセスを紙面下段に掲載したりして、児童が活動をイメージできるような工夫が見られる。	・単元導入は見開きの写真や絵で構成し、児童の興味・関心を引き出し、児童の主体的な活動が始まるような工夫がみられる。 ・ペア、グループ、全体等で交流する場面を設け、気付きを共有化し、気付きの質を高め、さらに次の活動の意欲へつながるような工夫がみられる。	・子どもの主体的な活動を支援する「学び方図かん」が巻末に設けることで、子どもが常に参考にし、活動を広げていけるような工夫がみられる。 ・「ものしりノート」や「ものしり図かん」などの資料ページが充実しており、子どもが主体的に活動を広げていけるような工夫がみられる。	・単元導入「わくわくスイッチ」や単元を貫く「はっけんロード」試行錯誤を促す「かんがえまとめいろ」、振り返りを助ける「ぐんぐんはしご」が設けられ、学び方を身に付けて、主体的な学び方が展開できるような工夫がみられる。	・単元導入は見開きのダイナミックな写真や絵で構成し、児童の興味・関心を引き出し、児童の主体的な活動が始まるよう工夫されている。 ・児童の活動の様子の写真や絵がふんだんに使われていて、活動を広げていけるような工夫が見られる。	・単元の導入ページは、児童が身近な対象について、自分との関わりで興味・関心を高められるよう、これまでの経験を想起し、活動の見通しをもてる問いかけを位置づけるという工夫がみられる。 ・さまざまな価値観で考えたり学びを深めたりしている児童の姿が、ユニークな絵と文章で表現されており、児童一人一人が自分なりの思いや願いをもちながらも協同的に学べるよう工夫されている。	・導入「わくわく」、主たる活動「いきいき」、振り返り「ぐんぐん」の3段階で構成され、さらに「めくり言葉」には、児童の次の活動に向けての思いや願いが例示され、単元を通して学びが連続的・発展的に深まるような工夫がみられる。 ・グループで考えたり、話し合ったりする活動のようすが具体的に示されており、他者一人一人が自分なりの思いや願いをもちながらも協同的に学べるよう工夫されている。
3 内容の配列・分量	教材の配列や単元構成・分量には、どのような特色があるか。	・季節の流れを軸に、時系列で配列し、四季の変化を意識しながら生活や学習ができる構成になっている。 ・季節単元では、児童の気付きを促せるよう、自然だけでなく公共施設や町の様子を定点から描写しているという特色がある。 ・低学年の児童の発達に配慮した取り組みやすい活動が適切に取り上げられている。単元末に「やってみよう」を設け、児童の状況に応じて、発展的、選択的に活用できるという特色がある。	・季節の流れに沿った大単元構成で児童の意識に沿って無理なく季節と活動を結びつけることができる構成になっている。 ・各学校の実態を踏まえ、個々の活動単元の組み替えができたり、多様な活動を例示されている特色がある。	・地域や学校の環境、子どもの意識などに応じて、自由に時期を組み替えたり、軽重付けて指導したりすることができる構成になっている。 ・1活動1見開き単位で構成されており、次の活動へつなげていく場面を示すことで活動の連続性を重視しているという特色がある。	・導入で動機付け、展開で主体的な学習活動、振り返りで意欲や自信を高めるという単元構成になっており、「はっけんロード」で試行錯誤を促したり、振り返りを自分の言葉で表現できる欄を設けたりしている特色がある。	・日常的な事象や生き物など、地域との関わりを重視した教材配列であるとともに、伝統行事を多くとり入れているという特色がある。	・学習の流れが分かりやすい紙面構成で、見開きで課題・活動内容・振り返りを繰り返す構成になっている。 ・児童の興味・関心に応じて活用できる資料が別冊でついている特色がある。	・季節に沿って単元が構成され、単元が進むにつれて活動が広がり、深まるような構成になっている。低学年の児童が親しみやすい学習活動や学習対象、学習材が取り上げられており、児童の興味・関心を生かして授業が展開できるように工夫されている。 ・活動のヒントになる資料をたくさん掲載しているという特色がある。
4 表記・体裁	表記・表現等について、どのような工夫が見られるか。	・活動や体験を通してえた気付きを友達どうして伝え合う姿や多様な他者と関わる場面などが、写真や挿絵を用いて具体的に例示されている。 ・臨場感があふれる写真で、子どもの活動意欲を引き出されるように工夫されている。 ・写真等の情報量が絞られており、低学年の発達を考慮した掲載となっている。 ・上巻のはじめはひらがなのみ、夏休み以降からカタカナが使用され、下巻では、第2学年までの担当漢字にすべてふりがなをつけている。	・モノクロ表現でイメージを膨らませるページを設けて児童の意欲を高める工夫が見られる。 ・写真やイラストをダイナミックかつ豊富に掲載している。 ・きもちマークなど書き込みもできるように工夫されている。 ・漢字は国語の学習進度に配慮して1年生担当漢字をP106,107から使用しており、すべてにルビを振っている。カタカナは上巻P104、105まではひらがなのルビをふっている。	・臨場感あふれる写真で、子どもの活動意欲が引き出されるよう配慮されている。 ・担当漢字とカタカナは、1年生の夏休み明けに相当する単元から使用されており、漢字にはすべて振り仮名が付けられている。	・学習活動を例示したイラストや写真は、児童の関心や意欲を促す表現で、図解や動植物などのイラストは、正確で資料性が高いタッチで表現されている。 ・後期より第1学年担当漢字(ルビ付)とカタカナ、下巻では第2学年担当漢字(ルビ付)で表現される工夫が見られる。	・動物(やぎ)を飼育し、ふれあう様子の写真や、季節ごとの風景や地域の行事の様子を大切にイラストや写真で、児童の関心を高める工夫が見られる。	・低学年児童の発達段階を考慮した表現方法を工夫している。 ・国語科の指導に配慮し、夏休み以前まではひらがなのみで、夏休み以降はカタカナと、第1学年の担当漢字が振り仮名付きで使用されている。 ・上巻資料「きせつのなかまちは防水効果があって汚れにくい撥水コーティング加工が施される工夫がされている。	・AB版(ワイド版)の大きさを低学年児童にとって取り扱いはしやすいように工夫されている。 ・上巻の前半はひらがなのみ、上巻の後半は、カタカナと第1学年担当漢字(フリガナ付き)に加え、第2学年までの担当漢字(フリガナ付き)が使用されている。 ・興味関心を喚起するダイナミックな写真と緻密な資料としての写真で興味関心を喚起するよう工夫されている。